

## 共同電算による費用対効果について

西いぶり広域連合では共同電算事業による費用対効果を、参加している各市町に算出してもらいました。

算出方法は、各市町が共同電算を導入しなかった場合と共同電算を導入した場合の経費をシステム関係と人件費に分け、平成19年度から平成24年度までで比較したものです。

4市町の合計ではおよそ、9億7千3百万円ほどの削減効果となり、住民一人当たり換算するとおよそ5千円ほどの削減効果がありました。

また、数字に表れない効果としても、封入封緘作業などの定型・大量業務にかかる事務作業の負担軽減などが図られました。

(単位:千円)

	人口(平成21年12月末)	システム関係経費削減額(A)	人件費削減額(B)	削減額(A) + (B)	交付税措置額(C)	効果(A) + (B) + (C)
室蘭市	95,627	258,862	110,793	369,655	63,271	432,926
登別市	52,578	144,301	60,205	204,506	35,064	239,570
伊達市	37,095	118,422	82,800	201,222	25,457	226,679
壮瞥町	2,990	50,939	19,965	70,904	3,753	74,657
合計	188,290	572,524	273,763	846,287	127,545	973,832